

会 議 録

会議の名称	平成20年度第3回富士見市社会教育委員会議
開催日時	平成20年7月5日(土)午前9時30分~12時00分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	松本 常美委員、中澤 佳珠代委員、會津 恒宏委員、西島 雅代委員、澤村 幹子委員、前田 憲之委員、羽石 貴裕委員、森本 扶委員、高橋 さかえ委員 事務局(寺沢生涯学習課長、谷口主査)
欠席者	岸 信次委員
公開・非公開	公開(傍聴人 0人)
会議次第	<p><協議事項></p> <p>1 今期の研究協議</p> <p>- 研究テーマ「社会教育における市民と行政の協働」について</p> <p>発表担当委員からの説明</p> <p>説明に対する質疑・応答・提案等</p> <p><報告事項></p> <p>1 入間地区社会教育協議会第2回社会教育委員部会</p> <p>2 西部地区人権教育実践報告会への参加要請</p>
会議資料	公民館等だより 担当委員研究協議レポート(事前配布)
会議録確認	會津 恒宏委員

会 議 内 容 (要 点 記 録)

1 協議事項

(1) 今期の研究協議

- 研究テーマ - 「社会教育における市民と行政の協働」について
発表担当委員からの説明

(議長) 本日から各委員がサブテーマを設定して、定例会 1 回につき 2 名が発表していくことになる。それでは担当委員、お願いしたい。

(委員) サブテーマは「子育て世代の地域デビューについて」とした。子育てをしている親が、地域の人々とどのように関わっているのか、その現状と課題、疑問点、今後のビジョンについて検討した。

(委員) 地域活動には仲間が必要である。あいさつをきっかけとして声をかけあう。まずは小さなこと、小さな地域から始めることが大切だし、一步踏み出す勇気が必要。

(委員) まず町会よりももっと小さな単位で始める。個人とのつながりが強い防災、環境、健康、資源など関心があることを企画し、参加してもらう。子育ては自分の家で行うとともに、親も子も仲間から育っていくことが必要。

(委員) 働いていると忙しくて地域に関われず、働くことの悪循環がないか。

(委員) 子どもたちもお稽古ごとでスケジュールがびっちり。そのために親は働いていて、結局地域のことがわからない。

(委員) 安心安全は城壁の様に作るのではなく、人垣で作るべきではないか。顔と名前が一致するように、地域の中でつながりをつくることがまず第一歩では。

(委員) 生活に密着し、ニーズにあった取り組みを行っているか、内容を見直す必要がある。新しい地域住民も意見が言い易い体制も必要ではないか。

(委員) 地域の中であいさつができていないか。顔つなぎができれば、口コミもできる。

(事務局) ここで欠席委員から提出されているレポートについて紹介したい。地域役員をしたくない、マイナス面ばかり考えて地域活動に参加してこない人が多いが、ちょっとしたきっかけが必要だ。どこの地域でも同じメンバーがやっていて変わらない。

(議長) ここまでとして、それでは 2 人目の担当委員、お願いします。

(委員) サブテーマは「地域の子育てと < 市民と行政の協働 > 」とした。子育てが地域の中で行われているという意識が薄れてきていないか、それでいいのかという思いのもと、それぞれ現状、課題、疑問点、今後のビジョンについて検討した。

(委員) 今の子どもは安全な枠の中で育てられていて、何か起きても対応できないのではないかと。隠れて時に悪い事をして、注意されて覚え遊んでいる方が将来的には頼もしいと思う。

(委員) 大人が地域の中で人間関係ができていなければ、子どもは生きていく力がつきにくい時代だ。トラブルがあってもすぐに親が出てきてしまう。体験をしていないから解決できない、どうしたらいいかわからない子が多い。表現活動とは具体的にどういうものを考えているのか。

(委員) 自己表現の機会がどれだけあるかということはとても大事。ぶつかってもいいから自分の考えや意見を言う中で、協力・協働も生まれてくる。

(委員) 学級活動や朝や帰りの会で 1 分間スピーチやお友達のいいところ探しなどを

- おこなっている。思っていること・考えていることをしゃべれない子が多い。
- (委員)家で子どもが何でも自然に言える雰囲気醸し出してあげる。それが中学生、やがて大人になったときにつながっていく。
- (委員)子どもは素直で真っ白。興味があることにはとても秀でている。但し、体験活動が少ないから、大人が提供・サポートしてあげることが必要。大人は、真面目で勉強熱心。知識や情報量も豊富だが、うまく利用できていないのでは。子どもの目線で話せない。
- (委員)地域や町会の方々が、もっとたくさん子どもたちに関わって、常に大人が子どもたちを見守れるように、町会全体に働きかけて参加できるようになるといい。
- (事務局)ここで、再度欠席委員のレポートを紹介する。地域住民のつながりが少なくなり、地域活動に無関心な方が増えた。来年度から授業時間が増えるらしいが、放課後子ども教室はどうなるのか、話し合っってよい方法を見出していかなければいけないのではないか。
- (議長)それでは、時間となったので、本日の研究協議はここまでとする。

2 報告及び連絡事項

- (1) 入間地区社会教育協議会第2回社会教育委員部会(7月2日(水)午後2時~入間市中央公民館)
- (委員)社会教育委員部会の部会長が突然辞任した。後任は未定。今後は2年ごとに正副持ち回りとする。次に、10月14日に越生町中央公民館で入間地区社会教育協議会社会教育委員研修会が開催される。テーマは「子どもの居場所づくりと社会教育委員の関わりについて」であるが、事例発表を狭山市、富士見市、日高市の3市が担当することとなったので、富士見市の発表の内容を決めて入間市の事務局へ報告をする。
- (2) 西部地区人権教育実践報告会への参加要請(8月5日(火)12時30分~入間市市民会館)
- (事務局)2名ご参加いただけるということにより、よろしくお願いいたします。

その他、地域や所属団体などについて情報交換・意見交換を行った。

3 その他

- (1) 次回定例会について 9月6日(土)午前9時30分~
次回の発表担当委員は8月26日(火)までに事務局にレポートを提出。